

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～23℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の56%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり107kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり37kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり198kgの水揚げで、前週の4.8倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の29%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マサバなどが1日1統当たり73kgの水揚げ。五島魚目地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり61kgの水揚げ。6月4日で今期の漁を終了した。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり2.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり302kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり229kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり312kgの水揚げで、前週の80%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/31日～6/4日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は6月1日より55隻が出漁し、6月9日から全船が出漁予定。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 1日1隻、総計8箱、スルメ（20・30入）5箱、ケンサキイカ（4立・バラ入）3箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-15号 5月に実施した五島灘・五島西沖の観測結果・第31-16号 5月に実施した壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>